

読売新聞 きょう（1月6日）のイチ押し

一面・三面 沖縄県など「まん延防止」適用 全国で感染急増

政府は、新型コロナウイルスの感染が拡大している沖縄、山口、広島
の3県に、緊急事態宣言に準じた対策が可能になる「まん延防止等重点措置」
を適用する方針を固めました。両県が近く適用を要請し、政府は早ければ
7日にも決定する見通しです。沖縄県と山口県岩国市には在日米軍基地が
あり、両県は米軍関係者から感染が広がった可能性があるともっています。

- ★沖縄県は重点措置が適用された場合、飲食店の営業時間を午後8時または
午後9時まで短縮することや、県をまたぐ移動の自粛などを求めること
を検討しています。適用期間は今年9～31日を要請する方針です。
- ★国内の新型コロナウイルス感染者は、45都道府県と空港検疫で新たに2
638人が確認されました。1日の新規感染者数が2000人を超えるの
は、昨年9月26日以来約3か月ぶりです。
- ★東京都では新たに390人の感染を確認。大阪府の新規感染者は244人
で、1週間で4倍に急増しました。吉村知事は「感染のスピードが速く、
拡大は明らか。『第6波』の入り口にいる状況だ」との認識を示しました。

運動面 全国高校ラグビー決勝は東海大仰星—国学院栃木

全国高校ラグビー大会は第6日、大阪花園ラグビー場で準決勝の2試合
が行われ、6度目の優勝を狙う東海大大阪仰星（大阪第2）と、初の頂点
を目指す国学院栃木（栃木）が決勝に進みました。

東海大大阪仰星は相手のミスをついて、東福岡（福岡）に
逆転勝ちしました。国学院栃木は堅守から主導権をたぐり寄せて、3連覇
を狙った桐蔭学園（神奈川）に快勝しました。決勝は8日午後2時5分
から大阪花園ラグビー場で行われます。

他紙と比べて

編集局の各部長が新年の展望や各部のテーマを論じる「展望2022」。
6日紙面では、経済部長（経済面）と社会部長（社会面）が登場し
ています。経済部長は「コロナの先 見越す一歩」をテーマに、コロナ
後の経済界のあり方を論評。社会部長は『「社会の弱点」目凝らす』の題
材で、先行きが不安な今だからこそ求められる社会のあり方について書
いています。7日紙面以降も各部長がそれぞれの分野を鋭く展望します。